



## <ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年2月18日

# ベトナムでの地下鉄（メトロ）整備

## ベトナムでの地下鉄（メトロ）の整備

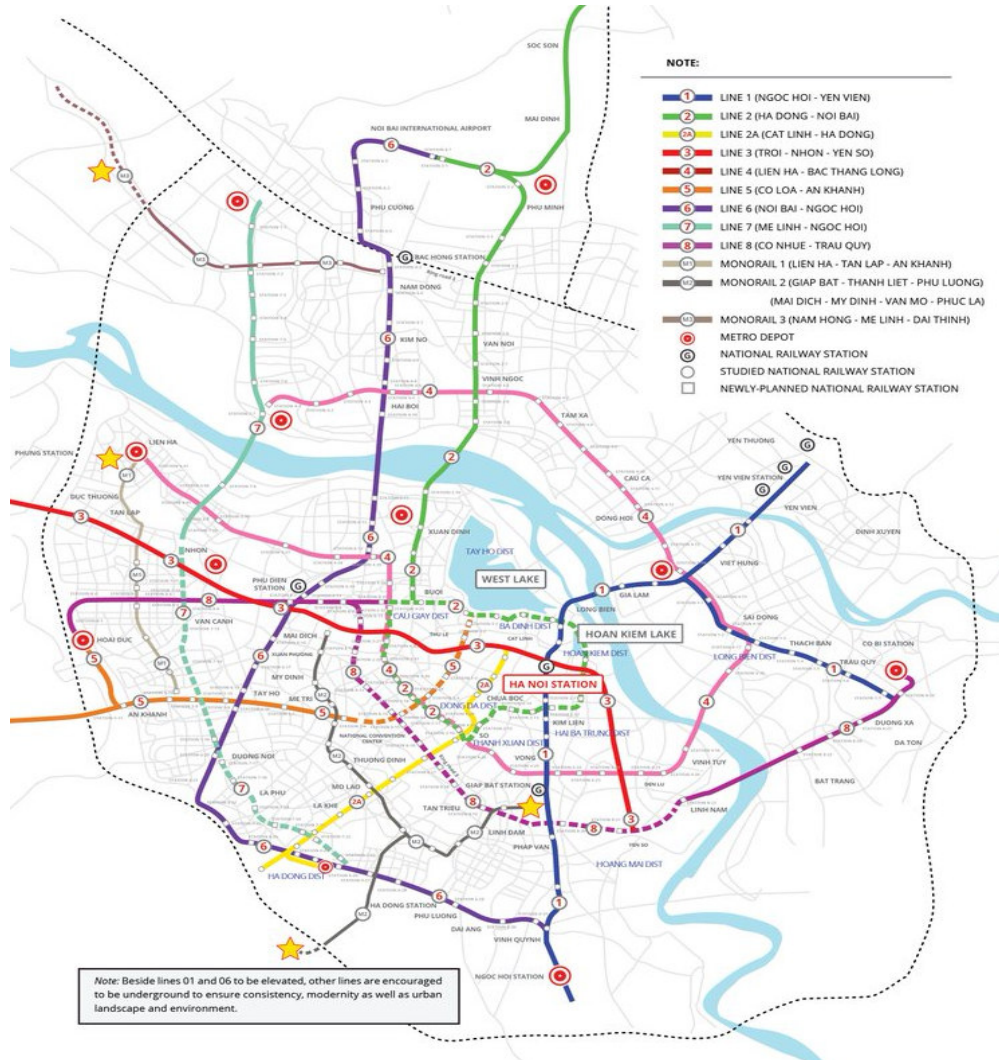
現在ベトナムでは、首都ハノイと最大都市ホーチミン市で地下鉄（メトロ）を建設中で開通も間近である。両都市では人口の増加とバイクや自動車の普及によって、大気汚染、交通渋滞、交通事故等が発生しているが、その解決策として地下鉄網の早期実現が期待される。三井住友建設や清水建設などのゼネコンが工事を、日立製作所が車両・運行システムを受注するなど日系企業が深く関与し、また日本、中国、アジア開発銀行等の ODA による資金援助も行われている（数案件は官民連携型でも実施の予定）。

### ハノイの地下鉄

計画されている中心部の路線数はメトロ 9 路線（229 駅）で総延長は 319km である（その他、周辺の各衛星都市を結ぶ 4 路線とモノレール 3 路線は総延長 137km）。9 路線の内、2 路線（2A 号線、3 号線）はすでに建設中で、その内メトロ 2A 号線（ドンダー区カッターン～ハドン区間）は路線距離約 13km、全 12 駅が設置され 99%完了している（現在、安全性検査や試験運転などを実施している段階で開通時期は未定）。同案件は中国の ODA を活用し、中国鉄道（第 6 局）が EPC 契約\*の請負業者として関与している。メトロ 3 号線（ハノイ市チョイ～ハノイ駅～ホアンマイ区）は路線距離約 26km、全 26 駅が設置され、チョイ～ハノイ駅（8.5km）の第 1 フェーズを建設中で、同フェーズは 2021 年に、全路線は 2023 年に運転を開始する計画である。

※プロジェクトにおいて結ばれる契約の一種で、設備の据付・試運転までを売り手側が引き受け、買い手に引き渡し、買い手が「鍵をまわす」だけで設備を運転できる状態に仕上げ引き渡す「ターンキー契約」と同じ。設計（Engineering）、調達（Procurement）、建設（Construction）を含む建設工事請負契約のこと。

〈ハノイ地下鉄路線図〉



出所：ハノイ鉄道有限責任会社・ハノイ市都市鉄道管理委員会

**ホーチミン市の地下鉄**

最終的には8路線（147駅）が開通予定で、その総延長は172.6kmである。その内、メトロ1号線（ベンタイン～スオイティエン間）は現在建設中で、開通予定は2021年末である。ホーチミン市中央部と9区を結ぶ路線で、路線距離は約19.7km、全14駅が設置される予定。また、路線距離約48kmのメトロ2号線（ベンタイン～タムルオン間）の第1段階（11.3km）も建設中で、完成は2024年～2026年頃を見込む。

資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



〈ホーチミン市地下鉄路線図〉



出所：ホーチミン市都市鉄道管理局

ハノイのメトロ 2A 号線



ホーチミン市のメトロ 1 号線



出所：いずれも交通新聞

以上

資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。